

「井上博史先生 有難うございました」

金属 29 期（工金 56） 石尾 雅昭

井上博史先生（金属 26 期）のご逝去を悼み、心よりお悔やみ申し上げます。

私は井上先生から大学および修士課程の 3 年間と卒業後、社会人博士課程の 3 年間、金属結晶塑性学（集合組織）研究の手解きを受けました。私は研究の壁に何度もぶつかりましたが、その都度親身にご指導を賜りました。先生は大変貴重なご自分の時間を割いて長期間寄り添って下さり、浅学な私の理解が進むまでじっくりとご指導くださいました。その際には、「大学の教員は、研究者であるが、先ず教育者である。」と仰り、私の心の負担が少しでも軽減するように、常に細やかなお心遣いを下さいました。

学生時代には、先生の真っ赤なスポーツカー（日産シルビア）でのドライブや旅行、カラオケを楽しませて頂いたことも決して忘れる事はありません。

まだまだこれからもご指導を頂けるものと安心しておりましたが、この度のご連絡、今もって信じられない思いで心の整理がつきません。

これまでの先生の真摯な取り組み姿勢や自己犠牲を厭わない、愛情深い後進へのご対応は私の胸に深く刻まれており、少しでも見習いたいと思っております。

井上博史先生、本当に有難うございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

2024 年 11 月



（写真）在りし日の井上博史先生